叡啓大学 2026 年度入学者選抜（春入学）

総合型選抜・留学生選抜

小論文

リベラルアーツについて

リベラルアーツ教育——叡啓大学が取り組もうとしているものもそうですが——は、伝統的には「自由人にふさわしい教育」とされてきました(Greteman, 2023)。リベラルアーツとは、特定の目的に向けられた専門的な訓練ではなく、広い視点や多様な学問分野、経験などから、新しい知識やアイデアを統合する基盤を提供するものです。現代的な意味に言い換えるならば、「様々な学問分野を横断的に学び、グローバル社会の中で活躍できる教養力を身につけること」なのです(叡啓大学, 2025)。

Greteman (2023)はそのような教育が、「市民および思考する者」としての自由を拡大すると述べています。実際、複雑な社会問題について有効な仕方では考え行動するためには、知に関する様々な伝統やアイデアを用いる能力が、これまで以上に重要になります。

以下の問いに関して、リベラルアーツが、われわれの社会が直面する複雑な問題への取り組みにどのように貢献できるのかを考慮しながら回答してください。

参考文献

叡啓大学. (2025, March 31). "学びの特徴". <https://eikei.ac.jp/academics/feature/>. 取得日:2025年7月1日.

Greteman, B. (2023, September 18). "What are the liberal arts? A literature scholar explains". *The Conversation*. <https://theconversation.com/what-are-the-liberal-arts-a-literature-scholar-explains-211011> (Retrieved July 1, 2025)

(問い)

日々の暮らしの中で、このまま放置すべきではない、とあなたが強く感じる社会課題をひとつ挙げてください。どうしてそう感じるのかを、あなた自身の具体的な経験や観察をもとに説明し、さらに、なぜそれが起きているのか、どのような背景や原因があるのかをいくつか取り上げ、適切な資料等を用いて論じてください。

次に、その背景や原因に関連して、リベラルアーツ教育で学ぶことができる具体的な科目をひとつ以上選び、その学びによってどのような考え方や視点が得られるのか、また、あなた自身がその知識をどう活かし、その課題解決につなげることができるかを具体的に述べてください。

小論文のアウトライン（例）

項目 (段落数の目安)	記述内容
小論文のタイトル	小論文の内容を簡潔に示す題目を書いてください。
はじめに (1段落)	小論文の主題や目的を説明し、何を論じるのか予告してください。
社会課題の概要と重要性 (2-3段落)	その社会課題を放置すべきではないとなぜ強く感じるのかを、自らの経験や観察にもとづいて具体的に説明し、その背景や原因について、信頼のできる資料や具体例などを用いて論じてください。
リベラルアーツとの関連 (2-3段落)	具体的なリベラルアーツ科目を取り上げ、そこから得られる知識や洞察が、当該の社会課題の解決や対応にどのように生かせるのか論じてください。
おわりに (1段落)	小論文の主題や目的を振り返り、論点を関連づけて、社会課題解決とリベラルアーツ教育の関係性について、あなたの考えを提示してください。
参考文献リスト	参照した書籍や論文、ウェブサイトなどを記載してください。文献の記載方法については、様々なスタイルがあります。参照元がわかるように一貫した形でリストが作成されていれば、スタイルは自由とします。

執筆ガイド

- ・ 「小論文のアウトライン（例）」を参考にして、各項目について記述してください。項目のタイトル（各項目「はじめに」等の見出し）の記載は、必須ではありません。また、表現を変えても構いません。
- ・ 小論文で取り上げるデータや事例や主張については、根拠となる資料を示し、「参考文献リスト」に記載してください。参考文献リストはページ数に含めないものとします。
- ・ 解答用紙は、本学指定のテンプレート（ワードファイル）を使用し、直接文章をタイプしてください。分量は図表を含めA4サイズ2ページ以内（フォントサイズは10.5ポイント）とします。解答用紙以外（参考資料など）の提出はできません。
- ・ 小論文の文章は、「です・ます」ではなく、「だ・である」で統一してください。
- ・ 文章の内容のまとまりごとに、段落を作ってください。段落のはじめは一文字分空けてください。一段落は200～500字程度を目安としてください。「小論文のアウトライン」には段落数の目安を示しているのので、参考にしてください。

評価基準

本学は、次の基準で小論文を評価します。

評価観点	評価基準	アドミッション・ポリシー (求める学生像)
基礎的要件	<ul style="list-style-type: none"> 指定テンプレートを用いているか？ 指定の分量を守っているか？ 課題の指示に従っているか？ 誤字脱字がなく、適切な文法を用い、読みやすい文章で書かれているか？ 	—
姿勢・視野	<ul style="list-style-type: none"> 自身の経験や観察を社会課題と関連づけられているか？ 社会課題の原因や背景について、資料にもとづいて客観的に論じられているか？ リベラルアーツにおける学びを十分に理解し、それが社会問題の解決や対応にどう結びついているのか、また、その学びをどのように活かすことができるか、について論じられているか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 国内外の様々な文化、歴史、社会や国際関係に強い関心と探究心があり、他者と積極的にコミュニケーションを行いながら学ぶ意欲がある者 将来を見据え、目的意識を持って学修に取り組み、自らの能力の向上を目指す者
学力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> 資料や具体例にもとづいて議論を展開できているか？ 論理的に小論文を組み立てられているか？ 自らの考えを具体的にわかりやすく表現できているか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 高校までの学習で基本的な学力を身に付け、幅広い視野を持って自ら先頭に立ち、他者を巻き込んで様々な課題に取り組み、社会に貢献しようと考えている者